システムキッチン ©

収納ユニット　取付・設置説明書

この説明書はお客様に
必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

シンクキャビネットに同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

⚠ 警告

天吊ウォールキャビネットの取付けは専用の連結ボルトで取付・設置説明書とおり正しく行う。
キャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

ウォールキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取り付ける。
ウォールキャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。
大工工事（取付下地） キッチン取付・設置

収納ユニットの設置は、建築床の構造を確かめて正しく取り付ける。
床がたわんだり、床が損傷するおそれがあります。
大工工事（取付下地） キッチン取付・設置

電気工事・管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

建設工事（電気工事・管工事・大工工事・建具工事）は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
守らない場合は、法令に違反します。

⚠ 注意

壁付けのキャビネットは必ず壁面に固定する。
転倒してケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

棚板を設置するときは、棚受けを隙間のないように奥まで差し込み、棚板を確実に載せてください。
棚板がはずれ収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

取付・設置完了後は、扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

組込まれる電気機器・その他機器については、それぞれの施工（取付け・設置）説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
電気工事 キッチン取付・設置

キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出す。
水平・垂直のレベルがでていないと、正しく取り付けることができません。
キッチン取付・設置

取付け・仕上げに使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、記載されている注意事項に従って、正しく使用する。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。
キッチン取付・設置

設置前の確認

1. 設置場所の水平・垂直・コーナーの直角度等のレベルが出ているか確認してください。
2. 電気製品の配線接続位置を確認してください。
3. ウォールキャビネットを取付ける壁面の強度、また必要な個所に取付桟が入っているか確認してください。
4. 天吊ウォールキャビネットを取り付ける天井の強度、また必要な個所に取付桟が入っているか確認してください。
5. 窓枠、ドア枠などと製品（引出しなどが完全に引出せるか）が干渉しないか確認してください。
   干渉する場合は、すき間埋め部材（ひも材）をご使用ください。収納ユニットフロアキャビネットの時、サービスカウンターの間口サイズも確認ください。
6. 注文した製品と納入された製品の左右勝手、ガス種、周波数などを確認してください。
7. 付属部品を確認してください。

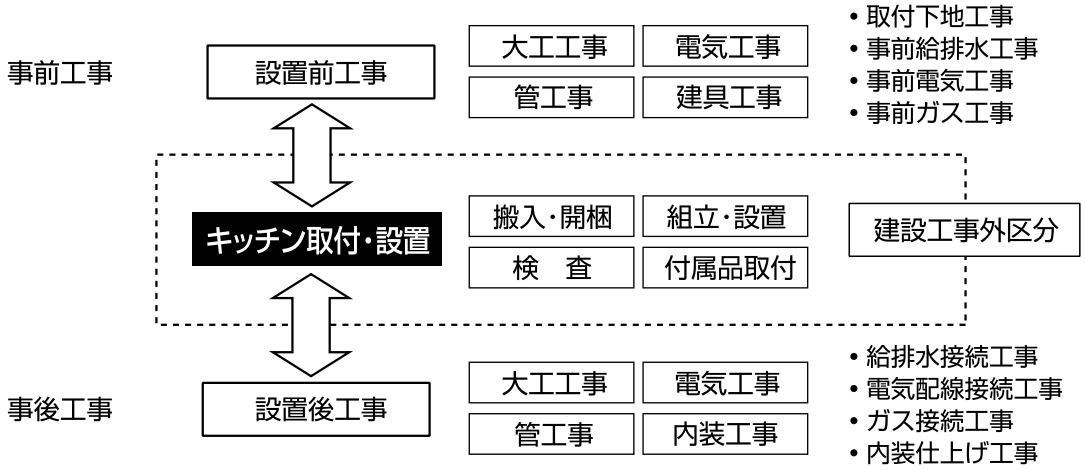
※上記内容に不備がある場合は手直しが必要です。建設工事として手直しが必要な部分は関連する法令・規定にしたがって工事を行ってください。

工事区分

⚠警告

本説明書は、システムキッチン本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様等）を通して本体の取付・設置を行う場合は、「建設工事」と「キッチン本体組立・設置」を区別して行ってください。

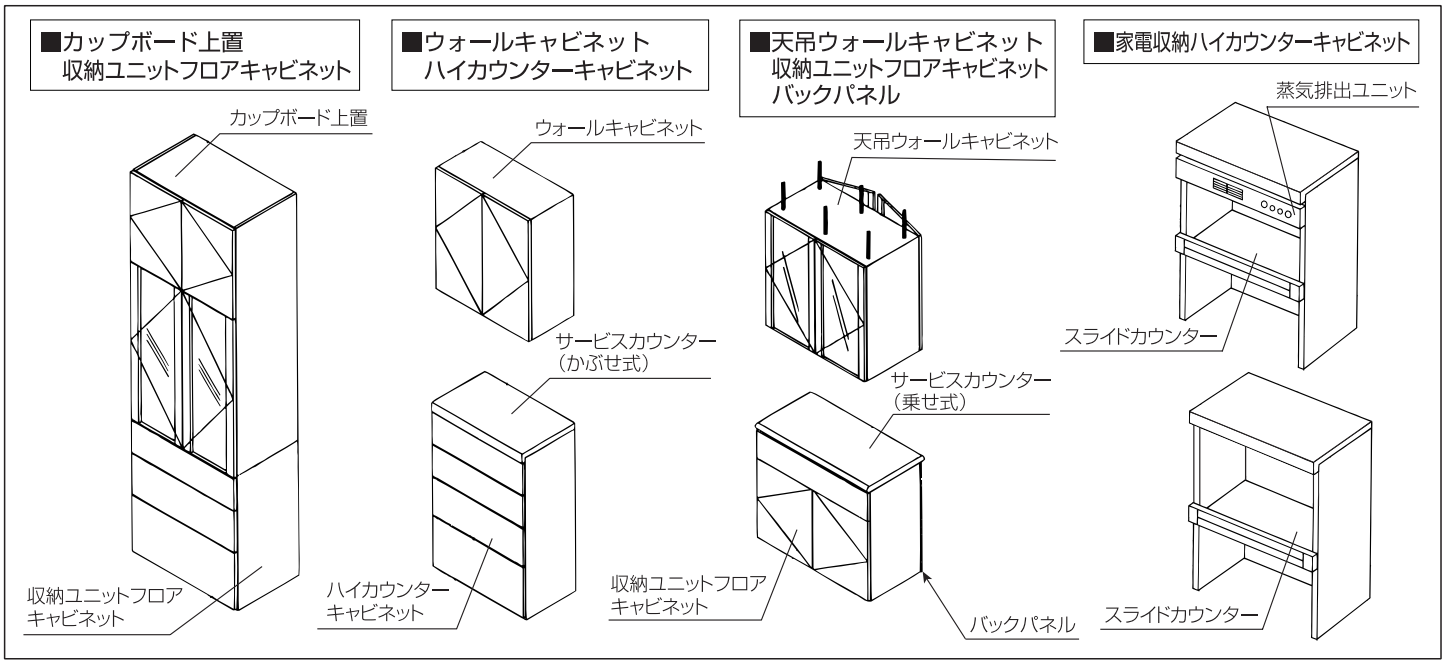
■「キッチンの取付・設置」とユニット工事区分



※キッチンの取付・設置以外は、下記の資格等条件を有した者が工事を行います。

工事区分	資　格　等　条　件
電気工事	第一・二種電気工事士・電気主任技術者・建築設備士など
大工工事	一・二級建築士・建築大工「技能検定」合格者など
管 工 事	一・二級管工事施工管理技士・建築設備士・給水装置工事主任技術者など

製品の種類



設置手順

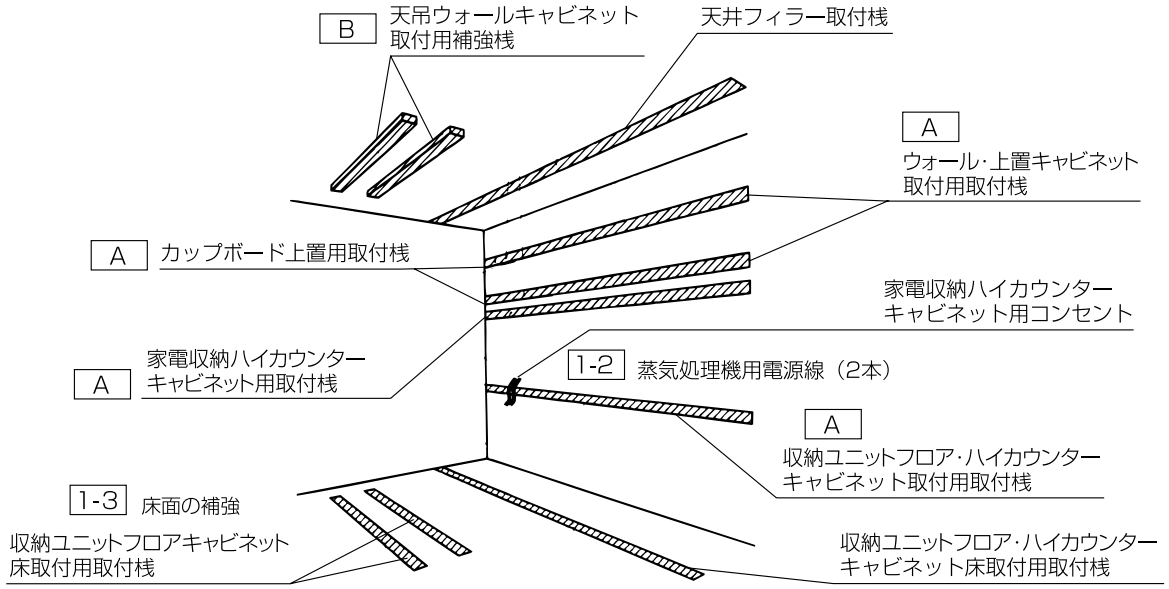
区分	工事	カップボード上置＋収納ユニットフロアキャビネット	ウォールキャビネット＋ハイカウンターキャビネット	天吊ウォールキャビネット＋収納ユニットフロアキャビネット＋バックパネル	家電収納ハイカウンターキャビネット
キッチン工事	大工工事	取付桟の取付け、床面の補強、天吊ウォールキャビネット用吊りボルトの固定 （→1．事前工事（建設工事）「1－1．取付桟の取付け」、「1－3．床面の補強について」を参照）			
	電気工事	電源線の取出し・コンセントの取付け（※棚下照明などを取付ける場合） （→1．事前工事（建設工事）「1－2．電源線の取出し・コンセントの取付けについて」を参照）			電源線の取出し･コンセントの取付け （→1．事前工事（建設工事）「1−2．電源線の取出し・コンセントの取付けについて」を参照）
	キッチン工事	キャビネットの連結 （→4．各収納キャビネットの取付け「4−1．収納ユニットフロアキャビネットとカップボード上置の連結」を参照 （→4．各収納キャビネットの取付け「4−2．収納ユニットフロアキャビネットの連結」を参照）			
		キャビネットの壁面固定 （→4．各収納キャビネットの取付け「4−3．カップボード上置と収納ユニットフロアキャビネットの壁面固定」を参照）	天吊ウォールキャビネットの取付け （→4.各収納キャビネットの取付け「4−6．天吊ウォールキャビネットの取付け」を参照）		キャビネットの取付け （→「5．家電収納ハイカウンターキャビネットの取付け」を参照）
		サービスカウンターの固定 （→4．各収納キャビネットの取付け「4−4．サービスカウンターとダイニングフロアキャビネットの取付け」を参照）			
		バックパネルの取付け （→4．各収納キャビネットの取付け「4−5．バックパネルの取付け」を参照）			
		電気機器の取付け （※棚下照明などを取付ける場合）			電気機器の取付け （※電気機器に同梱されている取付･設置説明書を参照）
	電気工事	電源線の接続 （※電気機器に同梱されている取付・設置説明書を参照）			電源線の接続 （※電気機器に同梱されている取付･設置説明書を参照）
	キッチン工事	仕上げ・付属部品の取付け （→「7．仕上げ・付属部品の取付け」を参照）			
		引出し・扉の調整 （→「6．引出し・扉の調整方法」を参照）			
内装工事	キッチン工事	目地処理 ※キッチンと壁面床面等の間をシリコーン等で目地処理する場合は、内装工事となる場合があります。			

※ キッチン工事 ーキッチン取付け・設置工事

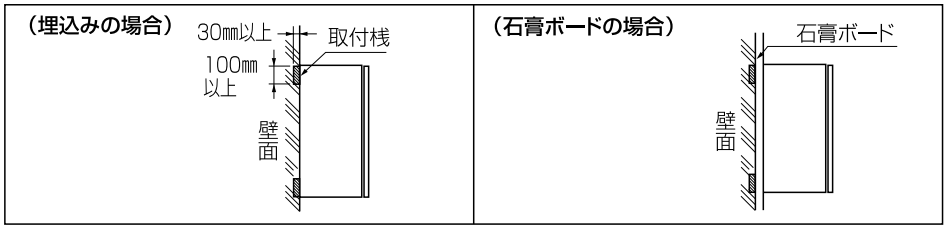
1 事前工事（建設工事）

1-1 取付桟の取付け 大工工事

A．ウォールキャビネット・家電収納上置・カップボード上置・ハイカウンターキャビネット・収納ユニットフロアキャビネット・家電収納ハイカウンターキャビネット（天吊ウォールキャビネットを除く）



●キャビネットを取付・設置する壁面に、取付桟を取付けるか、埋込んでください。
石膏ボードで仕上げる壁面は、石膏ボードの内側に取付桟を取り付けてください。
●本体重量と収納重量の荷重に対して、取付桟（下地）が落ちないだけの強度をもたせてください。
最大300kg／１キャビネットあたりの強度がもつように柱・間柱に確実に固定してください。
●取付桟（下地）は広葉樹、マツ･ツガ等の強度のある針葉樹いずれかの無垢材を使用します。また、厚さ30㎜以上、幅100㎜以上が必要です。
●合板を取付桟（下地）として使用する場合は、ラワン合板などの硬い材質の普通合板（表面が平滑でフシがない、虫くいや、くされのない物）を使用します。また、必ず厚さ12㎜以上の物を使用してください。

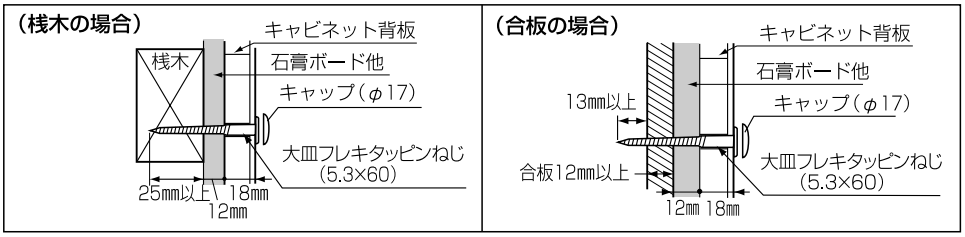


警告

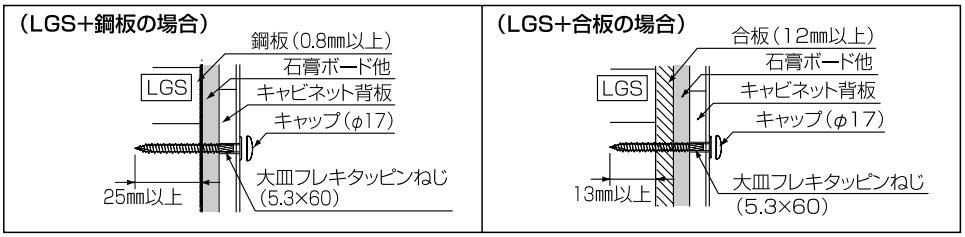
以下の事項と条件を必ず守って取付･設置する。
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

取付桟の取り付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。

●吊戸棚の取り付けは、必ず商品同梱の専用ねじ（大皿フレキタッピンねじ（5.3×60））を使用し、取付桟（下地）に25㎜以上かかるようにしてください。
●合板下地の場合は、下地からのねじ貫通しろを13㎜以上としてください。
●合板下地はねじ箇所だけではなく、全面下地（吊戸棚全体）を原則とします。



●鋼板下地の場合・鋼板の変形を防ぐため必ず石膏ボード等で覆ってください。
・下地からのねじ貫通しろを25㎜以上としてください。
●鋼板下地で石膏ボード２枚貼りの場合、その内側に下地を敷設する事は、上記のねじ貫通しろが確保出来ないため設置できません。
●鋼板の厚みは必ず0.8㎜以上のものを使用してください。
●軽量鉄骨躯体（LGS）の設置間隔は300㎜以下を守ってください。



B．天吊ウォールキャビネット

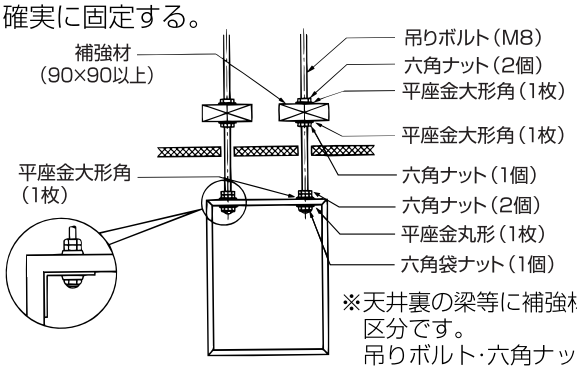
⚠ 警告

以下の事項と条件を必ず守って取付け・設置する。
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

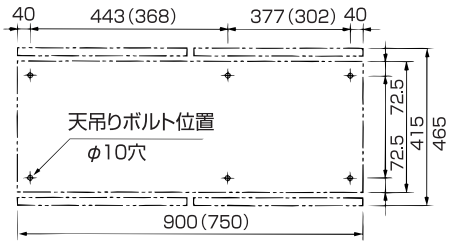
取付桟の取り付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

●吊りボルトを取り付ける
天井には、本体重量と収納重量の荷重に十分耐えられる強度をもたせる。(最大300kg/1キャビあたり)

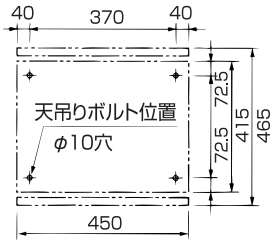
●吊りボルトを固定するための補強材は90㎜×90㎜以上の角材を使用してください。補強材は梁等に確実に固定する。



●天吊ウォールキャビネット900、750間口は吊りボルト6本、450間口は吊りボルト4本で確実に固定してください。



( )内寸法H間口750を示します。



図は上面図を示します。

※天井裏の梁等に補強材を取付け、吊りボルトの固定は、**大工工事**区分です。
吊りボルト･六角ナット･平座金･袋ナットは天吊ウォールキャビネット(製品)に同梱されていません。別途手配となります。

1-2 電源線の取出し・コンセントの取付けについて 電気工事

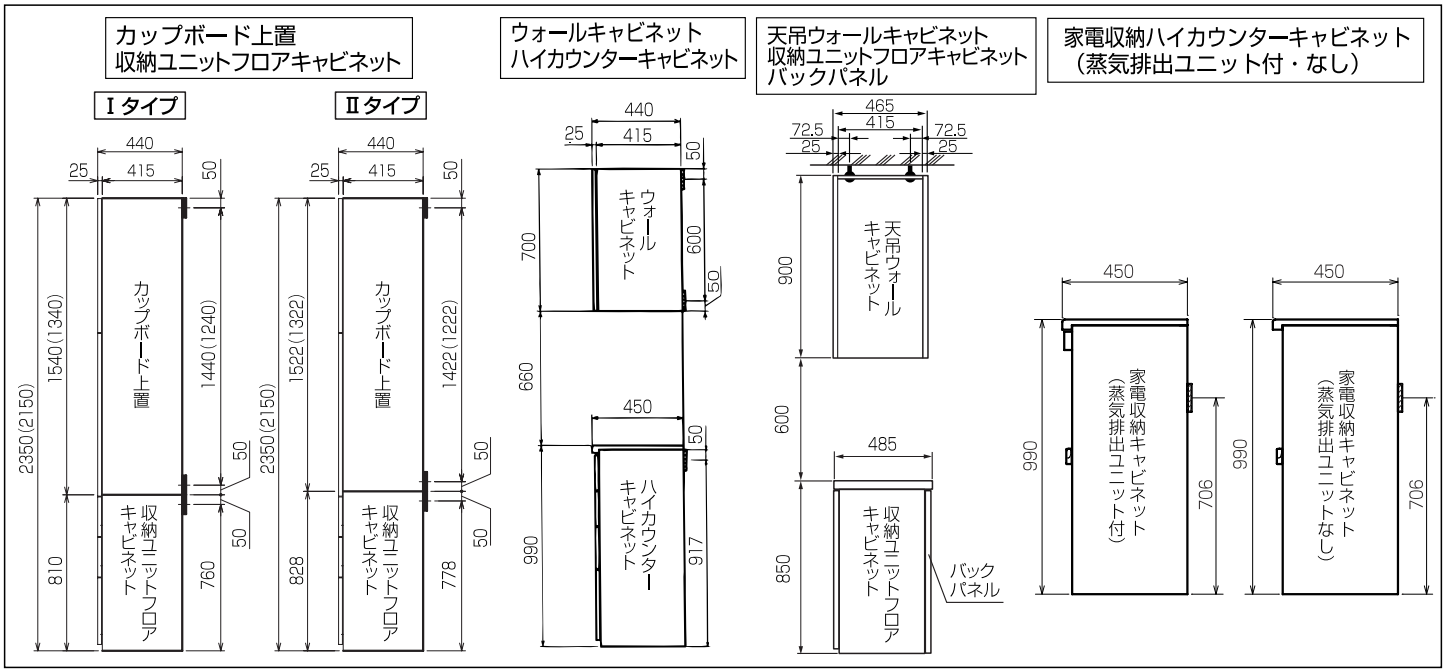
⚠警告 電源線の取出し・コンセントの取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

1-3 床面の補強工事について 大工工事

⚠警告
●床面の補強は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。
●200kg/1キャビネット程度の重量があるのでそれに耐えられる床の補強を依頼してください。
特に2重床の場合は補強用支持脚を225～310㎜程度の間隔で設置することをお薦めします。

2 取付位置・基準線の出し方

2-1 取付位置

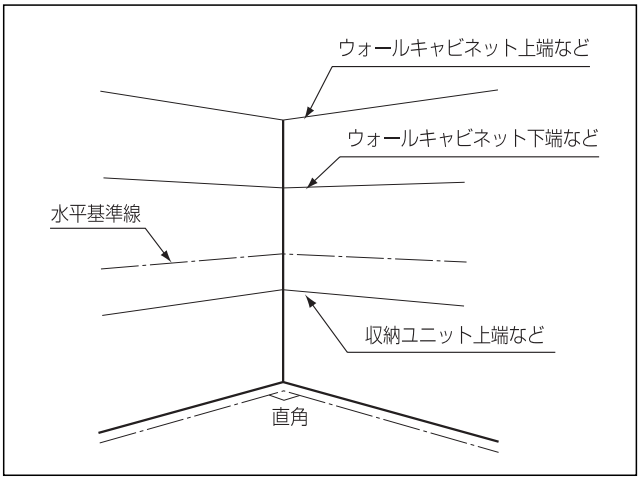


2-2 基準線の出し方

⚠注 意

取付・設置前に必ず設置場所の水平、垂直、直角度、レベルなどを正確に調べる。
これを基準にキャビネットを取り付ける。
ウォールキャビネットの水平が出ていない場合、扉キャッチが正常に作動せず、ケガをするおそれがあります。

①レーザーや水準器等で各コーナーにポイントを取り、水平基準線を打ってください。
水平基準線より上記の取付位置または取付図を参考に基準線を求めて墨を打ってください。
②床、壁面、天井の直角な交わりと水平、垂直をレーザーまたは下げ振り、水準器等で確認してください。



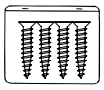
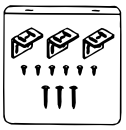
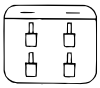
3 同梱部品一覧表

⚠注 意

必ず指定のねじ類を使用する。
使用しないと、商品の落下などによりケガの原因となります。

取付け・設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭つぶれのないようにする。
固定ねじがきかないと、キャビネットなどが落下してケガの原因となります。

■同梱部品一覧表（プランによっては付属されていない部品があります。）

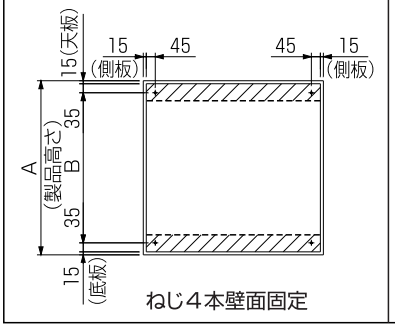
部　品　名	形　状	用　途	袋 詰 め
大皿フレキタッピンねじ 5.3×60（キャップφ17付）		・壁面固定用	
皿タッピンねじ 4.5×27（頭白塗装）		・キャビネット連結用 ・エンドパネル固定用	
サービスカウンター固定用金具		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ねじ 4×10		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ねじ 4×30		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ねじ 4×30		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
棚板受け金具		・樹脂製棚板受け用	
穴埋めキャップ（φ10） ライトグレー色：2コ ホワイト色：2コ		・壁面固定穴隠し用	
電源線（1.5m：2本）		・蒸気排出ユニットとコンセント配線用	
1口×2　コンセント		・家電収納ハイカウンター キャビネット用コンセント	
L型金具 （皿木ねじ 3.1×16付）		・キャビネットと 床面固定用	

4 各収納キャビネットの取付け

4-1 ウォールキャビネットの壁面固定・連結

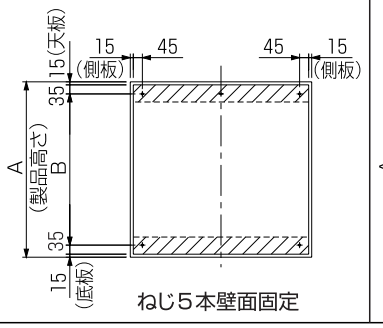
①取付桟の位置を確認した上でキャビネット背板の取付ねじ位置にあらかじめ下穴（φ5.5～φ6）をあけてください。
②キャビネットを同梱のねじで固定してください。（大皿フレキタッピンねじ5.3×60）続いてキャップ（φ17）を取り付けてください。
③隣接ウォールキャビネットがある場合、キャビネット同士の側板の下面と前面の面合わせをして、隣のキャビネットを付属の皿タッピンねじ4.5×27（頭白塗装）で連結します。

間口750以下



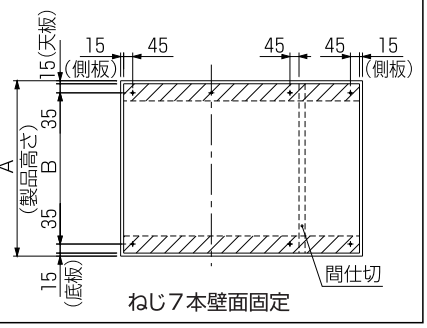
ねじ４本壁面固定

間口900



ねじ５本壁面固定

間口1050以上



ねじ７本壁面固定

キャビネット高さ	A	B
H＝900	900	800
H＝700	700	600
H＝500	500	400

4-2 収納ユニットフロアキャビネットとカップボード上置の連結

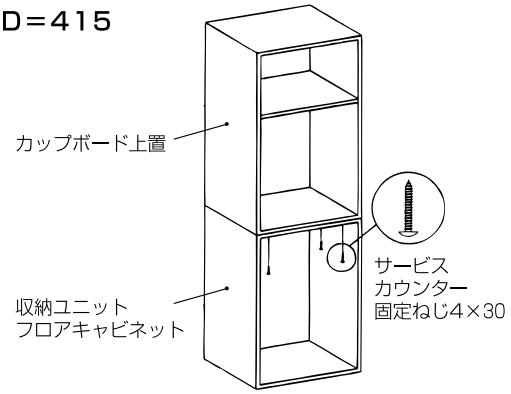
⚠警 告

以下の事項と条件を必ず守って取付け・設置する。
守らないとウォールキャビネットの落下、カップボードが転倒するおそれがあります。

●取付ねじを締めすぎて空回りしたり、ねじ頭をとばしたりしないように確実に固定する。

●取付ねじは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟にねじが25㎜以上かかるようにする。

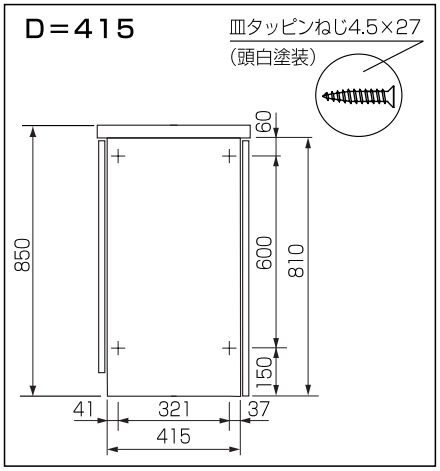
収納ユニットフロアキャビネットには、連結用の下穴（φ7）があいています。



キャビネットが転倒しないよう十分ご注意ください。

4-3 収納ユニットフロアキャビネットの連結

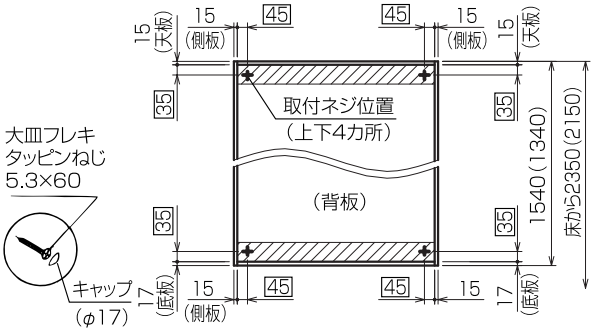
①キャビネット連結用の下穴（φ5）があいています。連結用の下穴がない場合は右図の位置を参考にあけてください。
②キャビネット同士の側板の前面を合わせ、隣のキャビネットと付属のねじで連結します。



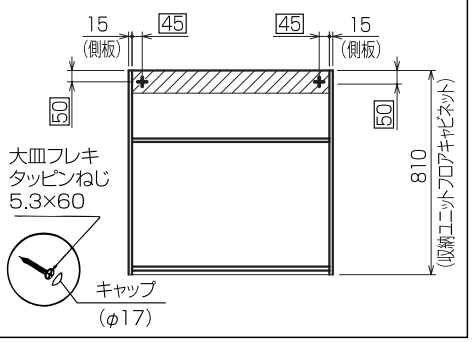
4-4 カップボード上置と収納ユニットフロアキャビネットの壁面固定

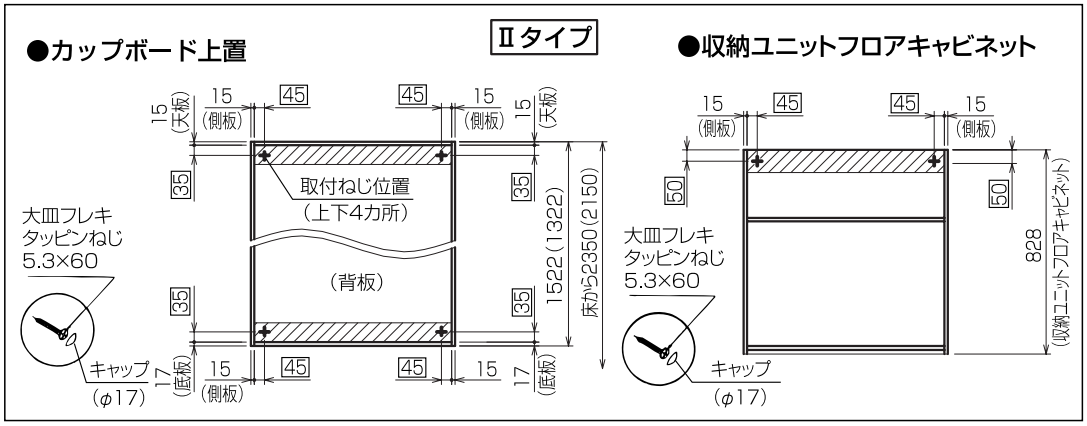
①取付桟の位置を確認した上でキャビネット背板の取付ねじ位置にあらかじめ下穴（φ5.5～φ6）をあけてください。
②キャビネットを同梱のねじで固定してください。続いてキャップ（φ17）を取り付けてください。

●カップボード上置　Ⅰタイプ



●収納ユニットフロアキャビネット





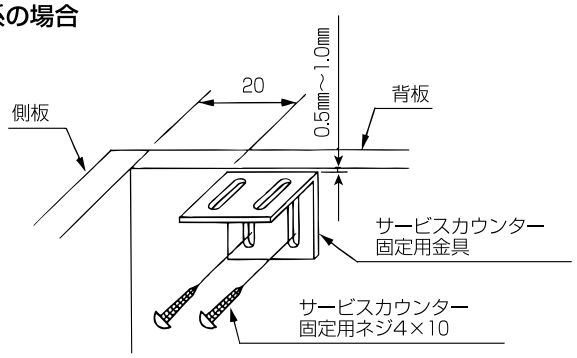
4-5 サービスカウンターと収納ユニットフロアキャビネットの取付け〈サービスカウンターと収納ユニットフロアキャビネットは別々で納入されます〉

①サービスカウンターを固定する前に同梱の金具を取り付けます。（構造材（前後）または天板（通し穴あり）がある場合にはサービスカウンター固定用金具の取付けは必要ありません。）

収納ユニットフロアキャビネット内に入っている同梱のサービスカウンター固定用金具を図の位置に同梱のネジで固定してください。

※サービスカウンター固定用金具は左右に固定してください。
（間口900のダイニングフロアキャビネットはセンターにもカウンター固定用金具を取り付けてください。）

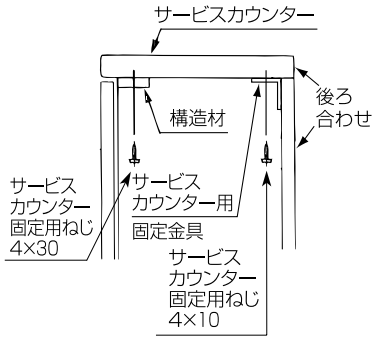
●片面系の場合

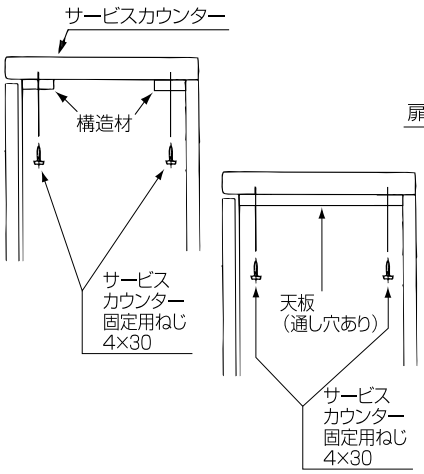


②収納ユニットフロアキャビネットの上にカウンターを固定します。

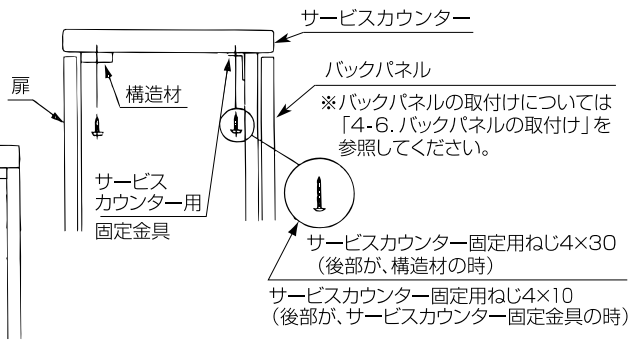
●サービスカウンターとキャビネットの位置合わせ後、構造材及び天板の通し穴とカウンター用固定金具を使い、キャビネット内側よりサービスカウンターを同梱のねじで固定してください。

●片面系（間口合わせと後ろ合わせ）





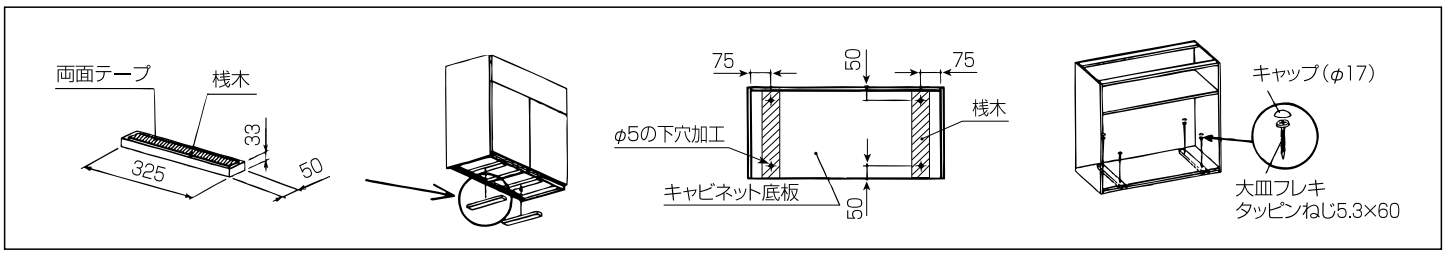
●両面系（片面系キャビネット+バックパネル）
（間口合わせと奥行均等振り分け）



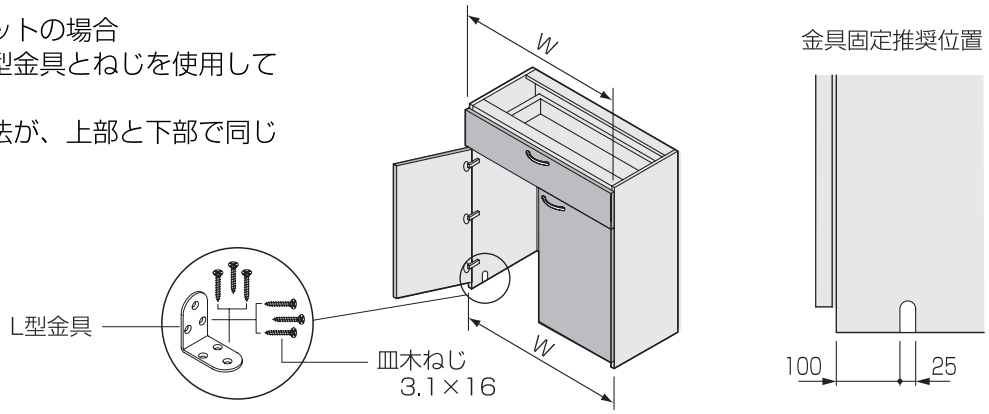
③キャビネットを床面固定してください。（片側・両側がオープンの場合）

⚠警告	
	●正しく固定されていない場合、キャビネットが倒れてけがをするおそれや製品が変形し破損するおそれがあります。
	●床面固定する際は、必ず床暖房の位置を確認してください。床暖房がある位置に床面固定すると、床暖房のチューブを破損するおそれがあります。

●キャビネット底板に下図の位置にφ5の下穴を4箇所あけてください。 寸法はキャビネットの内寸になっていますので、キャビネット内側からけがいてください。
●桟木（W50×H33×D325）を現場で調達してください。桟木に両面テープを貼って、 床面固定用の下穴があけている位置に貼り付けてください。
※桟木は、15㎜材と18㎜材を重ね合わせたものでも可。
●収納ユニットフロアキャビネット底板のφ5の下穴（下図）から、同梱のねじで床面に4箇所固定してください。
続いて、キャップ（φ17）を取り付けてください。

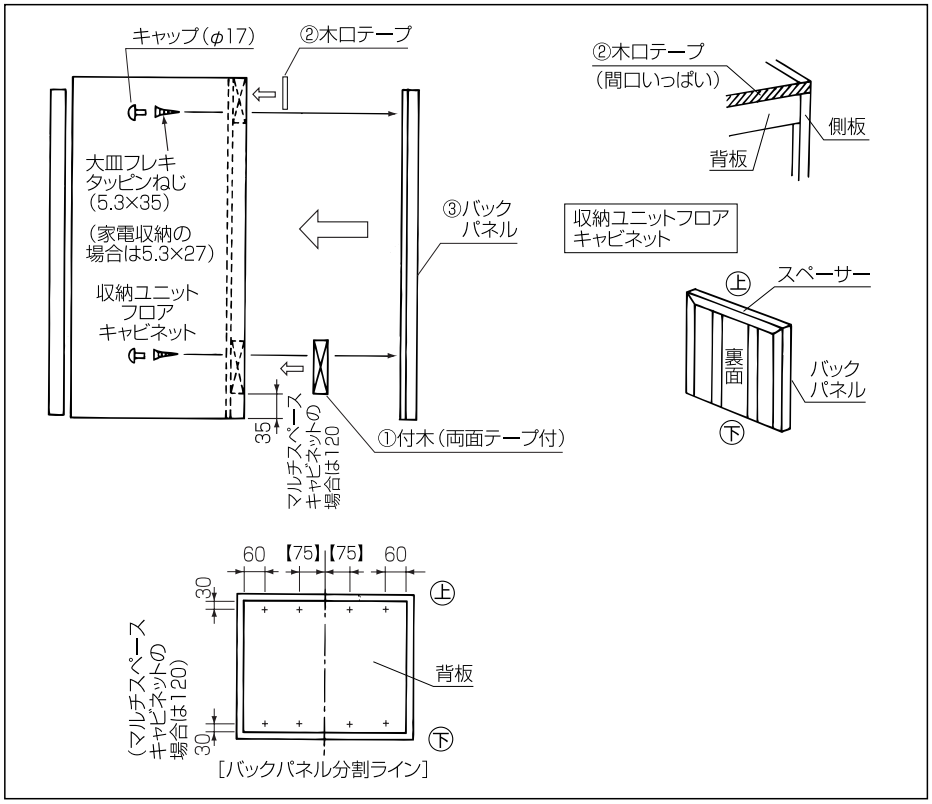


※※マルチスペース扉付きキャビネットの場合
●キャビネットに同梱している、L型金具とねじを使用して床面に固定してください。
固定する際にキャビネット間口寸法が、上部と下部で同じことを確認してください。



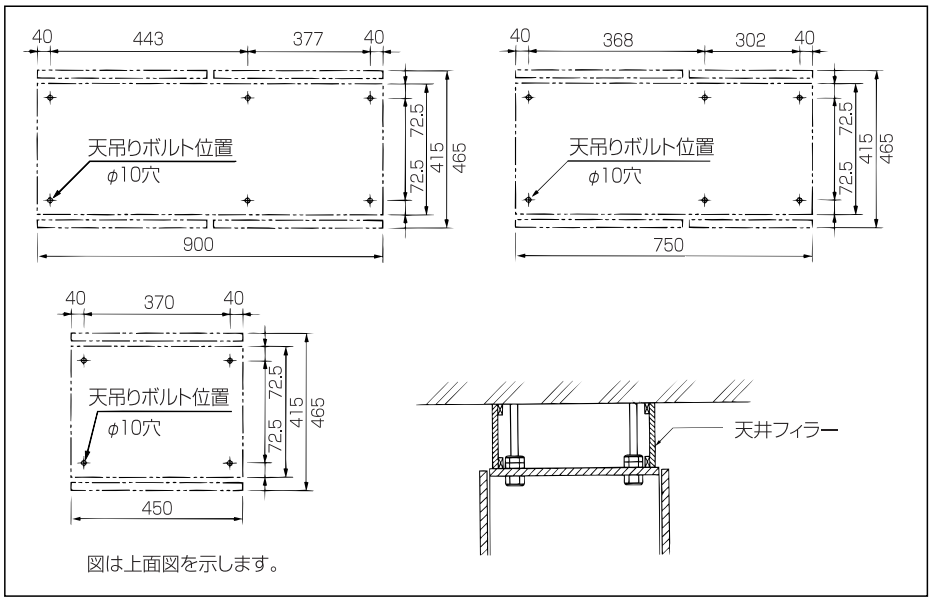
4-6 バックパネルの取付け

①キャビネットの背板にバックパネルに同梱されている付木を右図の位置に両面テープで貼り付けてください。
②キャビネットの背板上端に合わせ、バックパネルに同梱されている木口テープを間口いっぱい貼ってください。（収納ユニットフロアキャビネットのみ）
③キャビネットの背板にバックパネル固定用穴（φ4.5～φ5）をあけ、キャビネット内側より同梱のねじで固定し、キャップ（φ17）を付けてください（キャビネット下端合わせ。）
※収納ユニットフロアキャビネット用バックパネルには上下があります。裏面の間口方向にスペーサーが取り付いている方が上側です。
※間口が1050以上のキャビネットの場合、バックパネルは分割になります。
パネルを固定する際には、［ ］内の位置にもねじで固定してください。（間口900以下は、［ ］内の位置には固定しません）



4-7 天吊ウォールキャビネットの取付け

●中央部のボルト位置は、キャビネットのセンターではありません。取付け前に位置を確認してください。
●吊りボルト(M8)、六角ナット、平座金、袋ナットは別途手配となります。
①天井裏の梁等に補強材を取け付けて、吊りボルトを固定してください。**大工工事**
②キャビネットの吊り高さに合わせて吊りボルトの長さを調整してください。アンカーを使用する場合は、吊りボルトの長さを取付け高さに合わせて切断してください。
③吊りボルトにキャビネットを固定します。この際、吊りボルトには六角ナットを2個付けた後、キャビネット本体天板をボルトに通し、下から平座金1個と袋ナット1個で締めつけ固定してください。



5 家電収納ハイカウンターキャビネットの取付け

⚠警 告

以下の事項と条件を必ず守って設置する。
守らないとキャビネットが落下転倒するおそれがあります。

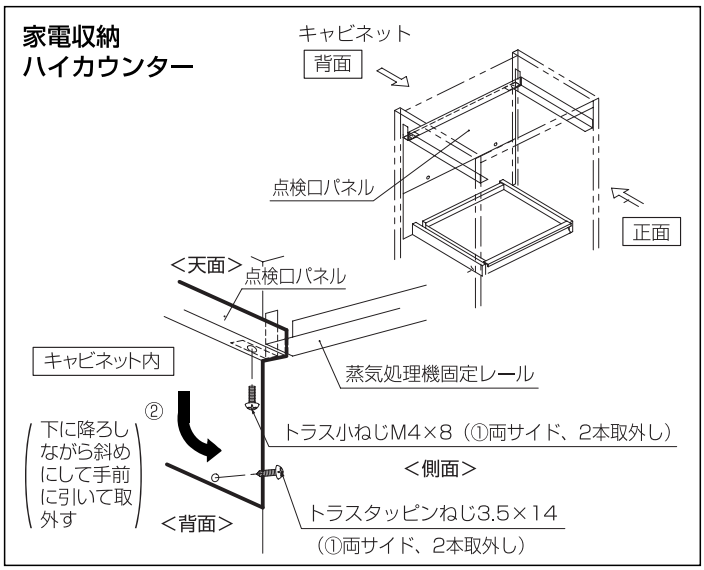
●取付ねじを締めすぎて空回りしたり、ねじ頭をとばしたりしないように確実に固定する。

●取付ねじは必ず同梱しているねじを使用し、取付桟にねじが25㎜以上かかるようにする。

■蒸気排出ユニット付の取付・設置手順

5-1 点検口パネルの取外し

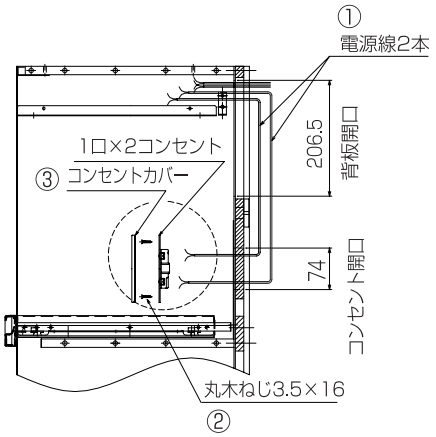
①点検口パネルは、天面2本、背面2本でねじ固定しています。手で押さえながらねじを外してください。
②点検口パネルを下に降ろしながら斜めにして手前に引いて外してください。
※コンセントが付いている場合は、コンセントカバーを外してから点検口パネルを外してください。



5-2 電源線の引込み・接続、コンセントの取付け

①同梱してある電源線2本を下図のように片側を背板開口に、もう一方をコンセント開口に通して引き込んでください。電源線の被覆を約15㎜むいて1口×2コンセントに差し込んでください。
②コンセントに電源線を差し込んだ後、コンセントを同梱のねじで固定してください。
③コンセントカバーを取り付けてください。
※コンセントへの電源線の差込みについては、「5-7.コンセントへの電源線の差込み」に従ってください。
④コンセントの近傍に「コンセント定格ラベル」を必ず貼付けてください。

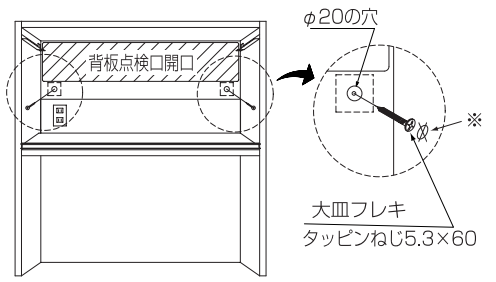
家電収納ハイカウンター



5-3 壁面固定

●家電収納ハイカウンター

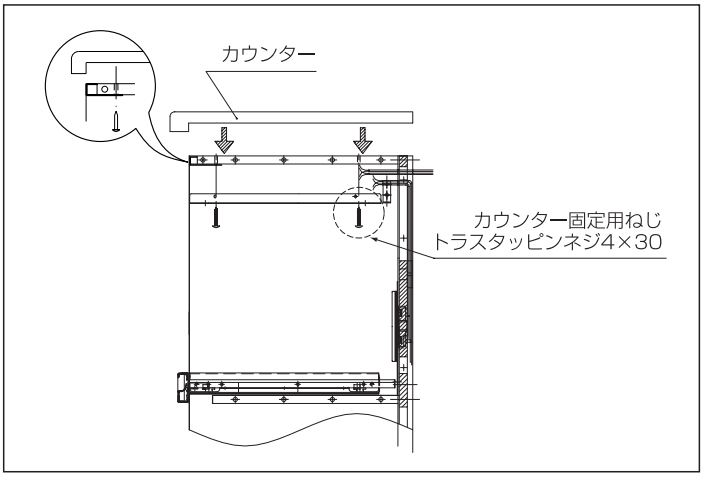
背板に壁面固定用の穴（φ20）が2箇所あります。その穴にキャビネット同梱のねじで壁面に固定してください。



※ねじ固定後、キャップ（φ17）は取付けません。

5-4 カウンターとキャビネットの固定

カウンターをキャビネット同梱のねじで6箇所固定してください。

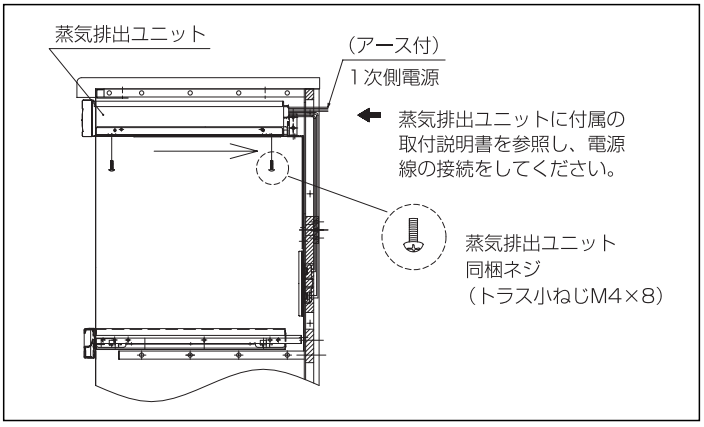


5-5 蒸気排出ユニットの取付けと電源線の接続

①蒸気排出ユニットに電源線（1次側電源アース付）を2本接続してください。 **電気工事**

②電源線の接続が終えたら蒸気排出ユニットをキャビネットに収めてください。

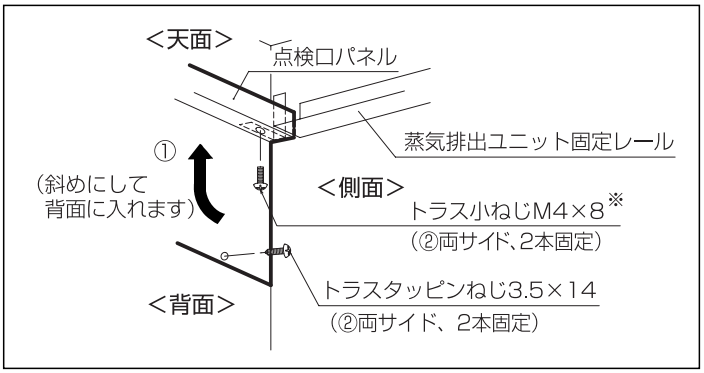
③蒸気排出ユニットを蒸気排出ユニット同梱のねじで左右各2箇所固定してください。



5-6 点検口パネルの取付け

①点検口パネルを斜めにして背面に入れてください。

②手で押さえながら、背面からねじ固定をしてください。続いて天面もねじで固定してください。



5-7 コンセントへの電源線の差込み

⚠注 意

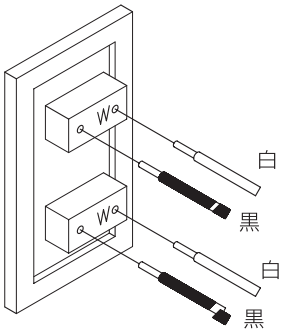
差込みが不十分ですと火災のおそれがあります。

①同梱のコンセントの差込み穴に同梱の電源線を差し込んでください。

②「W」と書かれている方に白色の電源線、もう一方には黒色の電源線を差し込んでください。

③「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。必ず、引っ張って抜けがないかを確認してください。

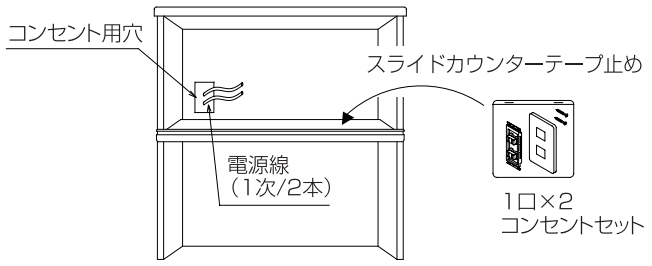
●コンセントへの電源線の差込み



■蒸気排出ユニットなしの取付・設置手順

●壁面固定
↓
●カウンターとキャビネット固定
↓
●コンセント用電源線の引き込み

●蒸気排出ユニットなしの家電収納の場合はコンセントの穴に電源線を引き込んでください。



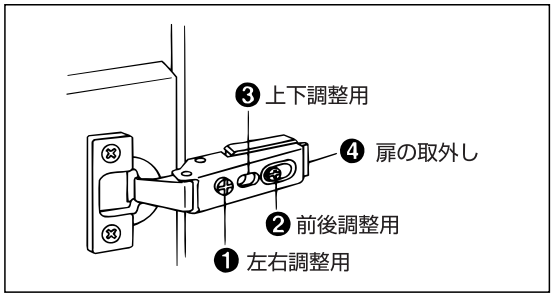
6 引出し・扉の調整方法

6-1 扉の調整方法

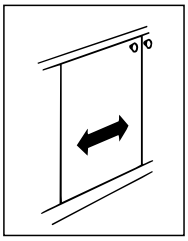
⚠注意 **工事終了後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。**
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

扉は左右や前後のズレがないように取り付けられています。微調整が必要なときは丁番の❶・❷・❸のねじで行います。

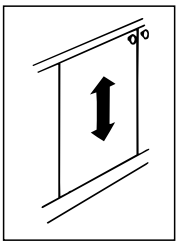
扉を取り外したいとき
ワンタッチ丁番の尾の❹部分（矢印部）を下から押上げると簡単に外れます。取り外す際は、扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットを傷付けないよう気を付けてください。



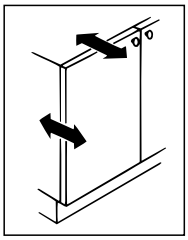
●左右調整
❶のねじを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番の反対側に移動します。



●上下調整
上下に扉が片寄っている場合は、❸のねじを緩めて座金の位置を調整します。
（上下2本の丁番を調整してください）



●前後調整
前後の開きは❷のねじを緩めて座金の位置を前後に動かし、扉の前後を調整します。

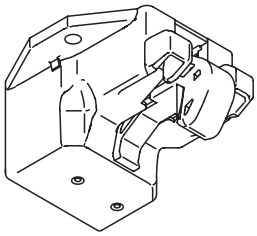


●調整の確認
扉調整後は、すべての丁番の❷と❸のねじが締めつけられていることを確認してください。

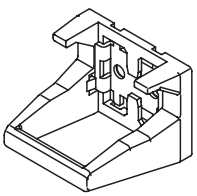
6-2 扉キャッチの調整方法

※扉キャッチの調整は、必ずキャビネットの設置・扉の調整をした後に行う。

扉キャッチ本体



フック受け



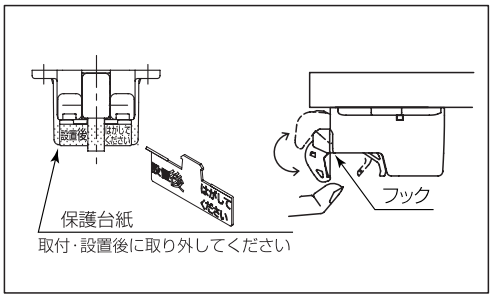
1．設置確認方法

①保護台紙を取り外す

扉キャッチ本体に貼り付けてある保護台紙を取り外し、フックがスムーズに上下するか確認してください。

②開閉確認

扉をゆっくり開閉しながら、扉が正常に開閉することを確認してください。
扉を開けた時にフックが上がった状態であることを確認してください。

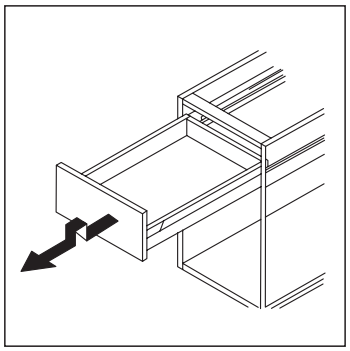


6-3 スチール製引出し（グレー）タイプの調整方法

■引出しの取外し・取付け

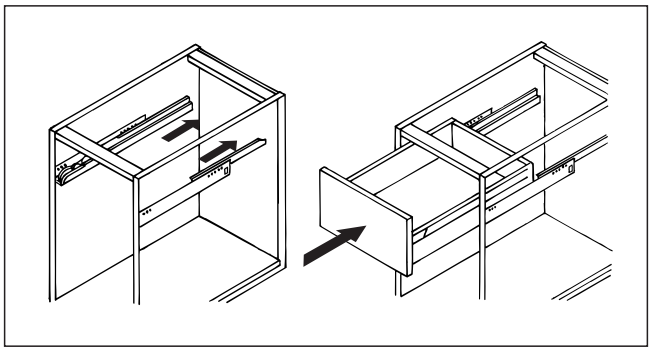
1. 引出しの外し方

引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。



2. 引出しの取付け方

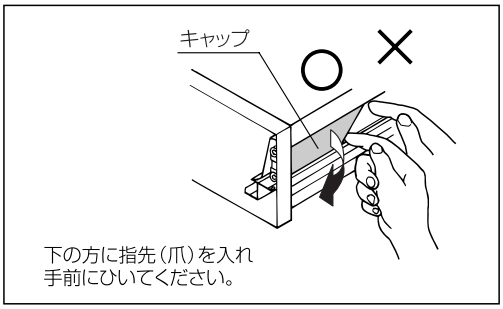
引出しをレールにのせそのままキャビネットの中へ押込みます。
“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。



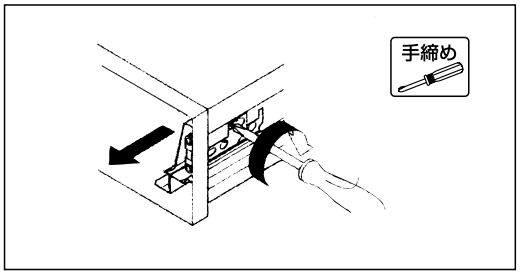
■鏡板の着脱方法

1. 外し方

①キャップを指で引っ掛けて取り外します。

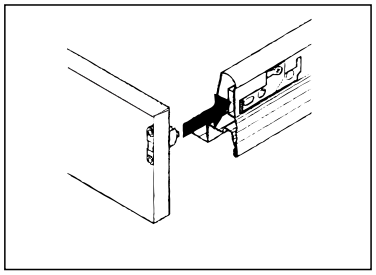


②プラスドライバーをねじ②に差し込み、右に回すと外せます。



2. 取付け方

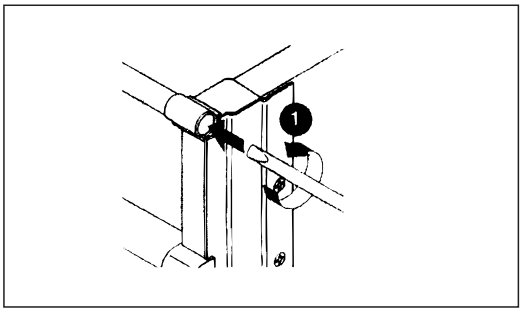
鏡板をそのまま引出しに押し込みます。



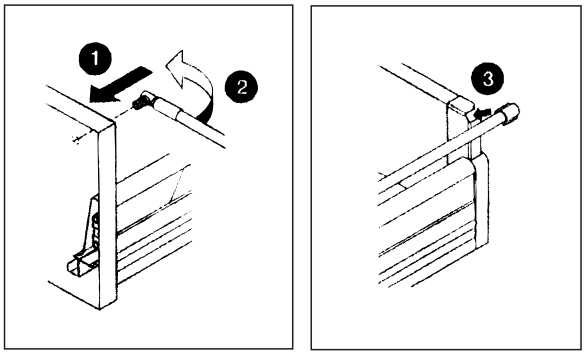
■サイドギャラリの着脱方法

1. サイドギャラリ外し方

マイナスドライバーでサイドギャラリの後部から差し込み、ひねると外れます。

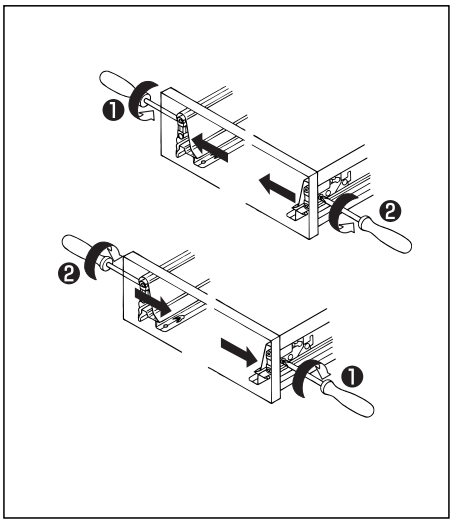


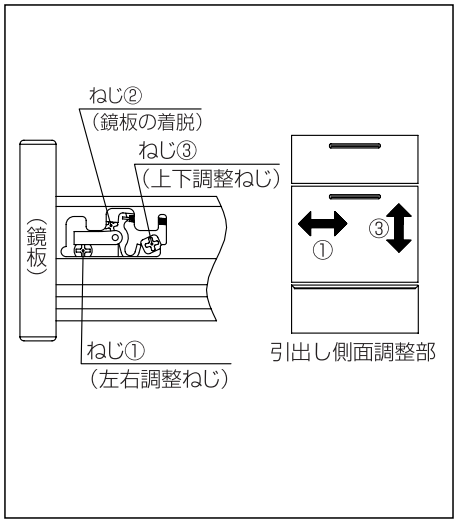
2. サイドギャラリ取付け方



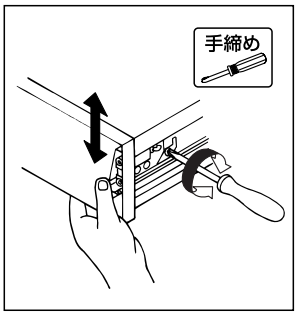
■鏡板の左右・上下・あおり調整

1. 左右調整
図のねじで左右調整をしてください。

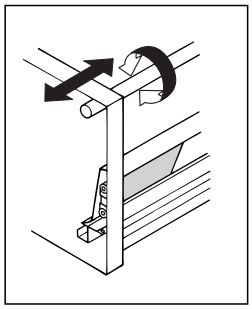




2. 上下調整
図のねじで上下調整をしてください。

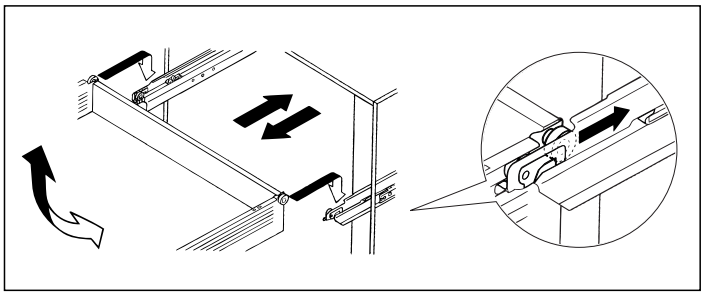


3. 前板の傾き調整
サイドギャラリを左回して調整すると、キャビネットの長さが変化します。これで傾きを調整します。



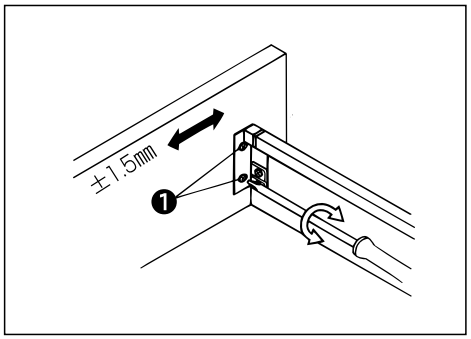
6-4 スチール製引出し（白色）タイプの調整方法

1. 引出しの取外し・取付け
完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引出しを外します。取付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。

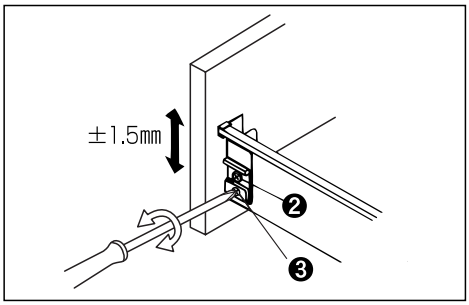


2. 鏡板の左右・上下調整および着脱方法
〔引出し鏡板の調整〕

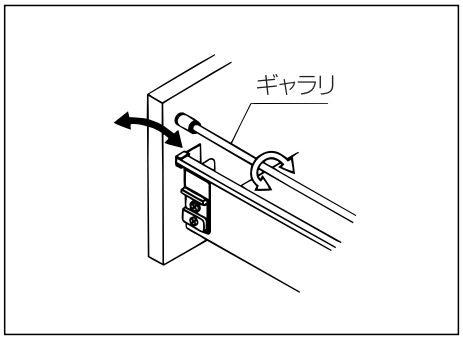
1. 左右調整
❶のねじ（左右）をゆるめると左右に鏡板が動かせます。



2. 上下調整
❷のねじをゆるめ❸のねじを回すと上下に鏡板が動きます。調整後❷のねじを締めます。

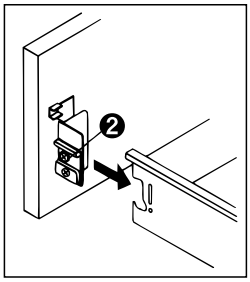


3. 鏡板のあおり調整
ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

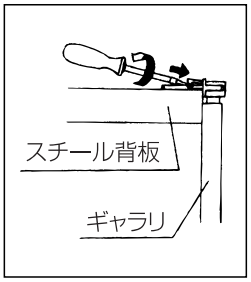


■鏡板の着脱方法

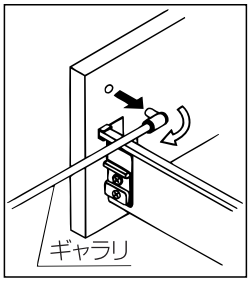
1. 鏡板の取り外し
❷のねじ（左右）をゆるめて鏡板を取り外してください。



2. ギャラリの取り外し
スチール背板の後部に引っ掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。



ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取り外してください。



7 仕上げ・付属部品の取付け

7-1 目地処理をする

⚠警告

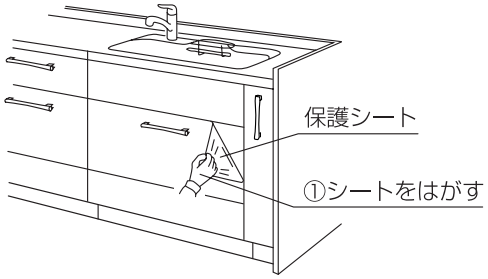
シリコーンで埋める場合、部位によって内装工事となる場合があります。建築壁とカウンターの間は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。
キッチンパネルの場合はこの限りではありません。

⚠注意

カウンターと、壁またはエンドパネルの合わせ部はシリコーンを充填する。
埋め方が不完全な場合、水こぼれでユニットやエンドパネル、および床や壁をいためるおそれがあります。

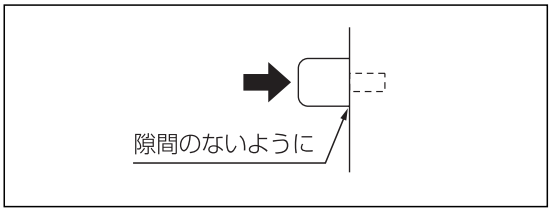
7-2 保護シートをはがす

取手がある場合、取手を取り付ける前に保護シートをはがしてください。
取手を取り付けてからはがすと、取手部にシートが残ります。
保護シートのはってある扉・取付部材は、下図のようにシートをはがしてください。



7-3 棚板のセット

棚受けは隙間のないように奥まで差込み、棚板を確実に乗せてください。



8 取付・設置担当者へのお願い

8-1 清掃と養生

●取付・設置後のキャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面を傷めます。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生を行ってください。

●養生につかう段ボールは梱包材を使用してください。
●養生につかうテープは粘着力の弱いものを使用してください。

8-2 取付・設置後のチェック

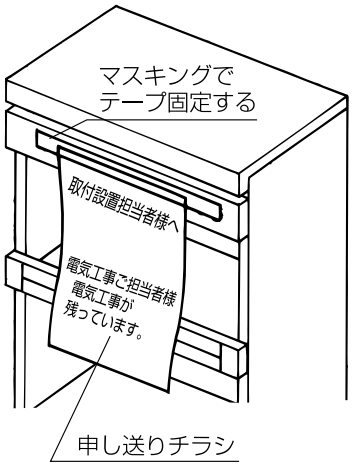
●キャビネットが確実に固定されているか確認してください。

⚠注意

扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

8-3 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引き継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。
●蒸気排出ユニットの接続（電気工事）があるため、必ず蒸気排出ユニットの前面パネルに申し送りチラシをマスキングテープで貼り付けてください。貼り付けは、必ず前面パネルのアルミ部分にしてください。（塗装部への貼付けは避けてください。）



※蒸気排出ユニットに貼り付いています

8-4 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

株式会社 LIXIL
http://www.lixil.co.jp/

7174023　B1トリツケセッチダイニング - SWA181
PKS-0027（14030）